

特集 私とまちのつながり方

現役世代、それぞれの地域活動 問い合わせ 企画協働課 ☎(740)1600

仕事や子育てに追われている世代には、負担が大きいと敬遠されがちな地域活動。市内には、自分の生活に合わせた方法で、活動に参加している人がいます。今回は、現役世代で地域に関わる3人の事例を紹介。あなたに合わせた方法で、地域とつながってみませんか。



①放課後子ども教室の準備には、未就学の子ども連れのメンバーも。自分のライフスタイルに合わせて参加している②メンバーが各机を回りながら、子どもとコミュニケーションをとる③④⑤受け付けや素材の作成など、メンバーが役割分担をしながら進める



子どもたちのために 地域活動を引き継ぐ

加茂小学校区コミュニティ推進協議会
ジョイフルフレンドクラブ 藤原ひろみさん



CASE 1 輪が広がり子育てが 楽になりました

「活動しているのは、子どものためというのが大きいですね。子どもの生き生きとした様子を見てみると、私も元気をもらえます」

そう話すのは、藤原ひろみさん。加茂に、夫と子どもの6人家族で住んでいます。

PTA活動をきっかけに、加茂小学校区コミュニティ推進協議会の「ジョイフルフレンドクラブ」で活動を始めた藤原さん。同クラブが開催する、「放課後子ども教室」に携わっています。

「ママ友に誘われて、「ちょっと顔を出そうかな」から

しかなかったりします」

工作や理科実験、茶道など幅広い内容で開催されている放課後子ども教室。この日の内容はしおり作りで、子どもたちは友達と楽しそうに工作に没頭していました。

「一番下の子が、来年少生になります。上の子が楽しそうにしている姿を見ると、下の子にも同じ経験をさせてあげたいと思いますね。それは、他の子どもに対しても同じです。子育てをしながらなので、できる範囲は限られますが、子どもたちのためにも活動を続けたいと思います」

始まり、自然と参加するようになりましたね。以前は、PTA活動や地域活動は大変そうというイメージがありましたが、やっているうちにどんどんつながりが増え、輪が広がっていききました。活動中に、たわいない話や子育ての相談もできるので、むしろストレス発散になっています。小学校に来ることが多くなったので、先生とも顔見知りになって、気軽に学校に来ることができるようになりましたね。授業の風景など、普段は見られないわが子の様子をこっそりとのぞけるのも、実はうれ

Interview

交流の場としての側面も

加茂小学校区コミュニティ推進協議会
広報委員長 三善知子さん

「ジョイフルフレンドクラブ」には、子育て中の人から、子育てが一段落した人まで、約20人が在籍。放課後子ども教室では、就学前のお子さんを連れてくる人もいますし、予定があれば途中で帰る人もいます。「できる人ができる時にできることを」のスタンスで活動しています。行事ごとにお手伝いを募集しているので、



メンバーでない人も気軽に来てください。学校に入ると、どうしても親同士が顔を合わせる機会が少なくなります。友人の輪を広げる場としても活用してほしいですね。

CASE 3

出会いがあったから 今も続けています

家庭を優先しながら 自分のペースで活動

けやき坂小学校区コミュニティ推進協議会
生越早苗さん



「引越してきてから約2年がたったところ、自治会の班長とPTAの役の両方をする事になりました。任されたからには、頑張らないと思って活動してたんですが、その時、けやき坂小学校区コミュニティ推進協議会で活動



していた林史恵さんに出会ったんです。林さんに『家庭を優先して、自分のペースで活動してね』と声を掛けてもらえて、自分のできる範囲で良いんだと思うと楽になりましたね。その出会いがあったから、今でも抵抗なく活動を続けています」

「野外フェス実行委員会委員長の高澤孝一さんと林さん

Interview

支えあってこそその野外フェス

けやき坂小学校区コミュニティ推進協議会
文化推進委員会委員長 林史恵さん

生越さんに掛けた言葉。実は私が活動を始めた時に、けやき坂コミュニティの築瀬繁子会長に掛けてもらった言葉でもあるんです。

けやき坂コミュニティには、「無理のない範囲で良いんだ」という空気感がありますね。それは、先輩の皆さんがフォローしてくれるからこそ成り立っていると思います。私たちが企画した「野外フェス」でも、先輩たちに、あらゆる面で支えてもらっています。経験や知識だけでなく、平日に作業もしてくれるので、本当に心強いです。



CASE 2

生活の負担になると 正直、思っていました

会社勤めをしながら イベントをサポート

北陵小学校区コミュニティ推進協議会
花村正志さん



「自分が住んでいるまちのために何かしたいとずっと思っていました。でも、現役で仕事をしながら、地域活動に加わるのは難しいかなと思っていました。それに、北陵小学校区コミュニティ推進協議会のことも知らなかったので、始めるきっかけがありませんでした」

「スマイルカフェ」は月に1度、フラダンスや流しそめんなど多岐にわたるジャンルで開催。地域でのつながりをつくるために、たくさんの人に参加してほしいと花村さんは話します。

「買出しから開催当日まで、幅広くサポートしてしま



Interview

住民の皆さんに魅力を伝える

北陵小学校区コミュニティ推進協議会
まちづくり推進委員会委員長 内田哲也さん

「スマイルカフェ」は、北陵小学校区を中心とする深山池公園を活用する「美山池遊園プロジェクト」の一環です。住民の皆さんに

「近所にこんなにいい場所があるんだ」と感じてもらい、さらに人と人がつながる場として活用してもらいたいという願いを込めてスタートしました。若い人たちもたくさん参加しているんですよ。地元で楽しい週末を過ごしてもらうために、イベントを企画しています。地元を少しでも好きになってもらえればうれしいですね。



自分なりのつながり方を見つけているために

まずはイベントに参加してみませんか

それぞれの生活に合わせて活動する3人。共通点は、以前は生活に影響が出るのではと不安を感じていたことです。一方、参加してみるとつながりができて、活動が楽しくなると話します。あなたの近くでも、さまざまな関わり方で活動している人たちがいます。

「地域活動に少し興味があるけど、いきなり参加するのは難しい」という人も多いのではないのでしょうか。

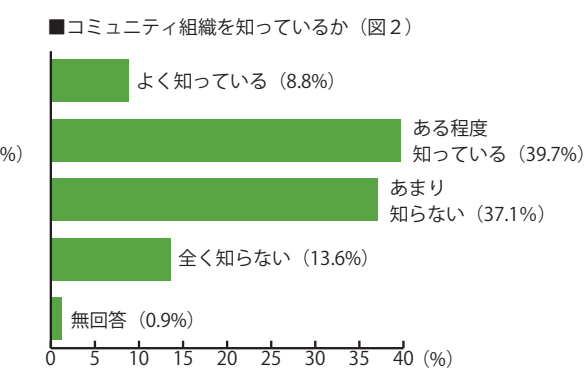
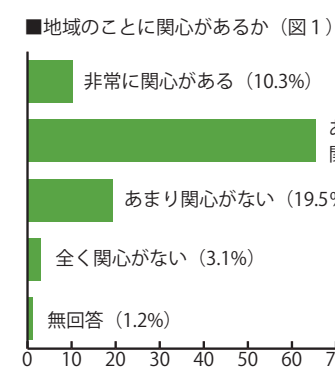
29年度の「参画と協働のまちづくり」に関する市民アンケート調査によると、地域のことに興味がある人の割合は「非常に興味がある」が10・3%、「ある程度興味がある」が65・8%でした。およそ4人に3人が、地域に何かの興味を抱いているという結果が出ています(図1)。

しかし、コミュニティ組織を知っている人の割合は、「よく知っている」ある程度知っている(図2)を合わせて5割程度(図2)。30代以下については、7割以上が知らないと同アンケートで答えています。

活動に参加しない理由については、「忙しくて暇がない」「気を使うのがわずらわしい」などが上位を占めています。時間的な負担感や人間関係への抵抗感が、参加を妨げる要因となっているようです。

働きながら、または子育てをしながら、プライベートの時間を充てるのは容易ではありません。しかし、自分の住むまちに、自分に合った形で関わることで、地域貢献だけでなく、地元で仲間をつくることにもつながります。

近所でのイベントに足を運ぶなど、あなたなりの地域とのつながり方を探してみませんか。



Support Your Activities

参画協働課があなたの第一歩をサポートします

これから参加できる イベントと地域活動を応援する 取り組み

11月に参加できるイベントや、活動を手助けする「市民協働事業補助金」を紹介します。「何から始めれば良いかわからない」「コミュニティ組織や地域のグループを紹介してほしい」「専門的な能力を生かして活動したい」など、地域活動に興味がある人は市役所4階の参画協働課へ。あなたの活動の第一歩を応援します。

観察ノートの作成・編集
・保護者の学びの場として、「PTA みんなのがっこう」を開催

問い合わせ 参画協働課 ☎(740)1600

文化祭

11月は、各地域で文化祭を開催。作品の展示や発表の他、模擬店の出店や子ども向けのイベントなどを催します。日程や内容など、詳しくは10～11ページに掲載しています。

市民協働事業補助金

福祉や子育て、環境、健康、まちづくりなどさまざまな分野の取り組みに必要な経費の一部を補助する制度です。公開プレゼンテーションで審査し、補助事業を決定します。今年度の募集は終了していますが、来年度も募集予定です。

【これまで採択された事業例】

- ・認知症の介護と予防を知ってもらうための映画上映会と脳トレゲームの体験会の開催
- ・自然環境・生き物の調査や保全活動、身近な自然

かわにし地域分権フォーラム つながり方のデザイン

11月23日 祝 午後1時～3時半
@アステホール

さまざまな立場から思いを持ち寄って、地域や人との新しいつながり方について考えます。四日市大学学長の岩崎恭典さんの講演や、地域で活躍中の人を交えたパネルディスカッション、活動事例発表(子育てや空き家活用など)など、内容は盛りだくさんです。乳幼児など子ども連れの人も参加できます。つながりたい人や地域活動に興味がある人など、ぜひお越しください。



問い合わせ 参画協働課 ☎(740)1600

小さいこと できることから 始めてみませんか

総合政策部参事 岡本勝

市内の各コミュニティ組織では、「自分たちの地域のことは自分たちで決める」という考え方に基づき、文化祭などの催しをはじめ、福祉や健康、子育てなど、地域に必要な取り組みを実施しています。さらに、地域内で活動する団体やグループ、個人の活動をつなぐ役割も担っています。

若い世代の皆さんの中には、地域活動のイメージが湧かなかつたり、ハードルが高く感じる人が多いかもしれません。が、今回の3人のように、無理なく、楽しく、できるときに地域活動に参加



地域活動は、交流を生み出します。近所の人とつながることで、毎日の生活がきっと充実したものになるのではないのでしょうか。また、市では、地域活動の大切さについて考えるきっかけとして、「かわにし地域分権フォーラム」を開催します。地域活動を始めるきっかけにしてみませんか。

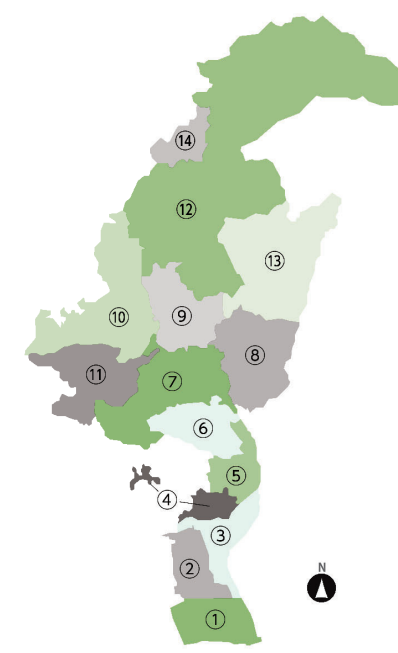
そもそも、コミュニティ組織とは?

自治会をはじめ、地域の各種団体などとの多様なネットワークを生かして、地域の課題解決などに取り組んでいるのが、コミュニティ組織です。おおむね小学校区ごとに設置されています。

コミュニティ組織

PTA	自治会	マンション管理組合
子ども会		NPO団体
老人クラブ	地区福祉委員会	事業者

上の団体名などは一例。地域住民を含めた全ての人、団体が構成員。



各地域は次の通り(左図参照) ①久代小学校区②加茂小学校区③川西小学校区④桜が丘小学校区⑤川西北小学校区⑥明峰小学校区⑦多田小学校区⑧多田東小学校区⑨緑台・陽明小学校区⑩清和台・清和台南小学校区⑪けやき坂小学校区⑫東谷小学校区⑬牧の台小学校区⑭北陵小学校区